Connect

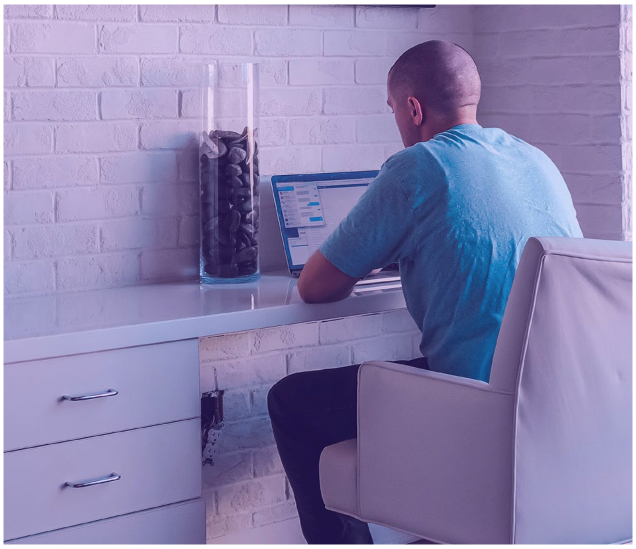
レガシー システムのデータを次世代クラウドおよびデータ プラットフォームにシームレスに統合

データをフル活用して戦略的なビジネス利益を獲得

ビジネスは重大な課題に直面しています。データが企業の最も戦略的な資産であることはほぼ間違いなく、企業はクラウド、データセンター、アプリケーション、そしてそれらすべてを管理するスキルを持ったスタッフに多額の投資を行っている可能性があります。それにもかかわらず、あらゆるデータのポテンシャルを十分に引き出すことは困難です。これにはいくつかの共通する理由があります。

- **データがエンタープライズ全体に分散し、分断されたサイロに格納されている。** クラウドの増加により、従来のデータセンターに加え、パブリック クラウドとプライベート クラウドで生成され、保存され、処理されるデータが増え、この課題をさらに深刻化させています。
- **データのフォーマットが多種多様で互換性がなく、簡単に統合できない。** 例えば、多くの企業にはメインフレームなどのレガシー システムがありますが、重要なデータがその複雑さのためにクロス プラットフォームの分析から除外されています。
- **データはリアルタイムでビジネスに利用できず**、時間の経過とともに急速に価値を失う。これには幅広い分析データベースや BI プラットフォームの利用が含まれます。
- **データ量が既存インフラストラクチャの処理能力を超える**可能性があり、コストの増加、パフォーマンスの低下、SLA の未達成につながる。

これらの課題を克服することで、データを利用して有益なインサイトを獲得し、顧客を満足させ、イノベーションを実現し、市場投入までの期間を短縮し、競争に勝ち、脅威を防ぐことができます。



必要なとき、必要な場所に、必要な方法でデータを提供

Connect を利用すると、必要なとき、必要な場所に、必要な方法で情報を提供して、すべてのエンタープライズ データから戦略的な価値を獲得できます。最大限の柔軟性を備えたデータ パイプラインを構築して、ビジネス ニーズを満たします。

オンプレミス、プライベートまたはパブリック クラウド、ハイブリッド環境に展開できます。単一サーバで実行することも、または Spark のような分散処理フレームワーク上で実行して最大限のパフォーマンスを大規模に実現することもできます。最先端のストリーミング プラットフォームを利用して、リアルタイムにデータ パイプラインを構築します。メインフレーム、データウェアハウス、クラウド、バッチ、ストリーミングなど、すべてのエンタープライズ ソースからのデータを単一のワークフローに統合します。コーディングやチューニングなしで、パフォーマンスやリソースの利用が自動的に最適化されるので、使いやすいグラフィカル インターフェイスを使用してデータ統合ジョブを一度設計するだけで、あらゆる場所に展開できます。

Connect を利用すると、最も要求の厳しいエンタープライズ環境で求められる信頼性、スケーラビリティ、セキュリティに関する詳細なインサイトを取得できます。

Connect の利用方法

Connect の代表的なユースケースには次のものがあります。

- 変更されたデータの取り込み
- クラウド データの統合
- Data Integration
- データウェアハウスのオフロード
- データベースの複製
- ETL
- 高パフォーマンスのデータ取り込み/読み込み
- メインフレームのオフロード
- ストリーミング データ パイプライン
- Spark/Hadoop のデータ統合

©2026, 2020 Precisely. All rights reserved worldwide. 本文書に記載されるその他すべての企業名および製品名は、それぞれの企業の商標の場合があります。

Connect 製品の特長

データ サイロの解体

Connect は、メインフレーム、リレーショナル データベースと NoSQL データベース、クラウド、Hadoop データ レイクなど、1 つの企業のあらゆるデータを統合します。データベース スキーマ全体をわずか数分で簡単に移動したり、テーブル、列、データ タイプをフィルタリングして、必要なデータのみを移動したりできます。集約したデータをすべての主な MPP アプリケーション、データ視覚化ツール、EDW に供給し、あらゆるエンタープライズ データに基づいて、分析やビジネスに関する意志決定を向上させます。

リアルタイム データ配信

Connect は、ビジネス アプリケーションや分析機能へのリアルタイム データ配信を提供します。常に正確かつ最新のデータを確実にビジネスに利用できます。
Connect は次のことを実現します。

- 手動での介入や再同期の必要がなく、変更データ取り込みワークフロー内で自動的に復旧される、回復力に優れたデータ配信
- ネットワークが過負荷になったり、ソース データベースのパフォーマンスに影響を与えたり、特殊なスキルを必要とすることなく、リアルタイムでデータの同期を維持

エンタープライズレベル

Connect は効率性に優れ、フットプリントが小さいソフトウェアですが、最新のデータ アーキテクチャを管理、保護、制御するために必要な包括的サポートを提供します。Connect では、FTPS と Connect:Direct、ネイティブな LDAP と Kerberos のサポートによる包括的なセキュリティ、Apache Ranger と Apache Sentry の連携を利用して、メインフレームへの安全なデータ アクセスを行うことができます。また、データ量とデータ パイプラインが拡大したときでも、レポートとコンプライアンスのために、エンドツーエンドのデータ リネージに関する詳細なインサイトを提供します。

一度の設計であらゆる場所に展開

Connect を使用すると、一度の設計であらゆる場所に展開可能なアーキテクチャによって、IT 環境を将来も使い続けられるので、データからコンテキストや意味を理解することに集中できます。グラフィカル ユーザ インターフェイスを使用してデータ統合ワークフローを一度設計するだけで、オンプレミスでもクラウドでも、あらゆる場所に展開でき、再設計、再コンパイル、修正の必要はありません。ボタンをクリックするだけで、開発環境から本番環境へ、オンプレミスからクラウドへ、または 1 つのクラウドから別のクラウドへ、ワークフローを移動できます。

メインフレームの専門知識

Precisely は、次世代データ プラットフォームが「メインフレーム データを理解」できるようにすることに特化しています。50年以上にわたるメインフレームソフトウェアのリーダーシップで培った経験を活かし、ConnectはDb2の枠を超え、VSAMやIMSを含む最も複雑なメインフレームデータを、お客様のビジネスを支える最新のプラットフォームやフレームワークからアクセス可能かつ利用しやすいものにします。

- メインフレームのスキルなしで、メインフレームからのアプリケーション データをクラウド環境やビッグデータ環境に取り込み、その他すべてのデータ ソースと同様に使用する
- メインフレーム上で行われた変更を複製して、データ レイクまたはデータ クラウドをリアルタイムで最新状態に維持する
- VSAM、IMS、メインフレームの固定および可変ファイル、Db2 データに直接アクセスし、理解する
- メインフレーム上にあったときとまったく同じ状態にデータを保ち、ガバナンスとコンプライアンスに関する義務に対応する

©2026, 2020 Precisely. All rights reserved worldwide. 本文書に記載されるその他すべての企業名および製品名は、それぞれの企業の商標の場合があります。